

韓国が、がん検診受診率53%を達成した理由 —訪問視察報告—

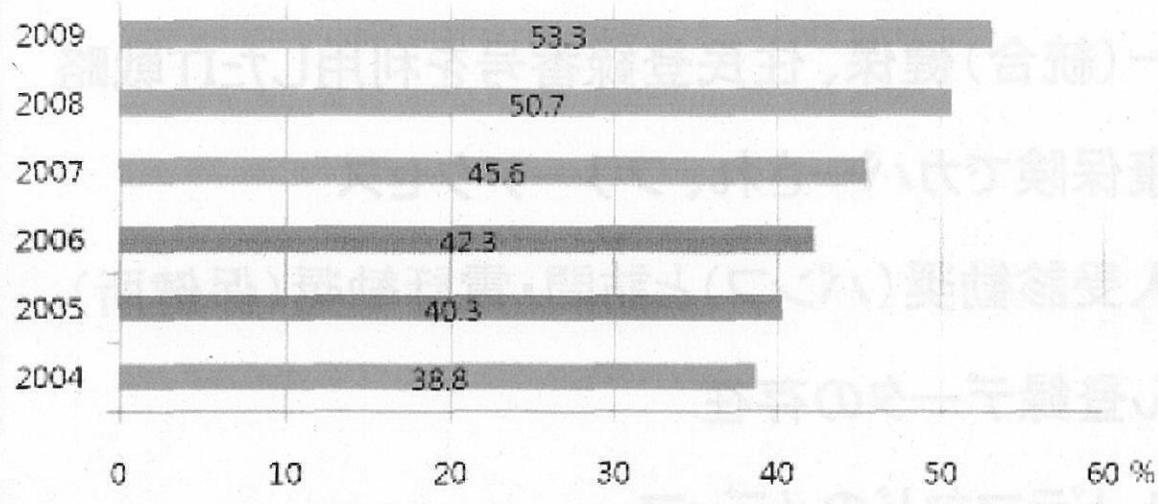
東大病院 中川恵一

訪問視察：平成22年2月10日(水)～11日(木)

出張者

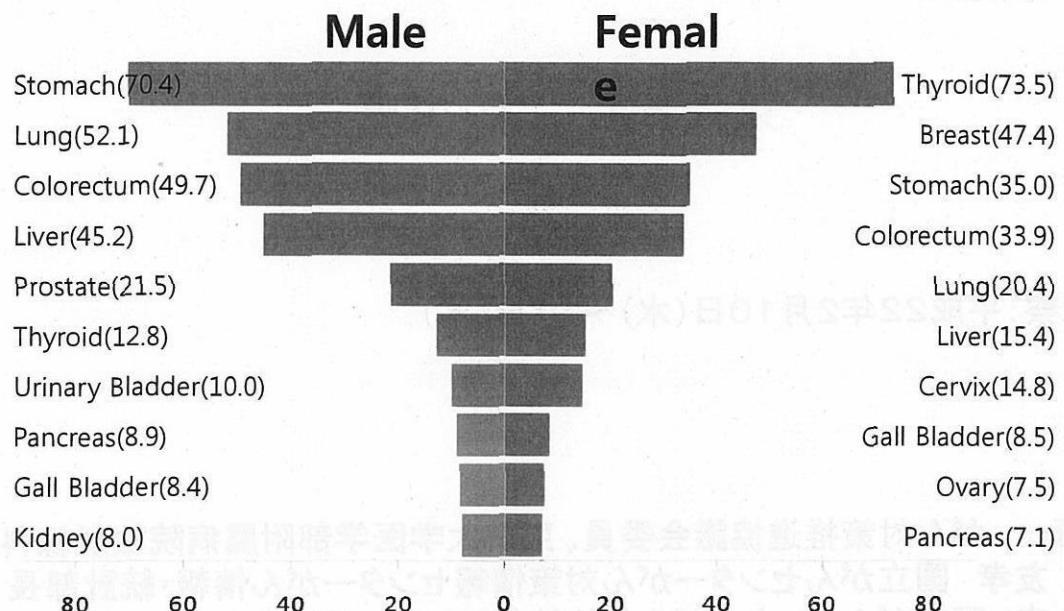
中川 恵一 がん対策推進協議会委員、東京大学医学部附属病院放射線科准教授
 祖父江 友孝 国立がんセンターがん対策情報センターがん情報・統計部長
 若尾 文彦 国立がんセンターがん対策情報センター長補佐
 鈴木 健彦 厚生労働省健康局総務課がん対策推進室長
 末政 桂一郎 同がん対策推進室がん対策調整係長

韓国のがん検診受診率の推移



Major Cancer Site, 2007

Unit: cases/100,000

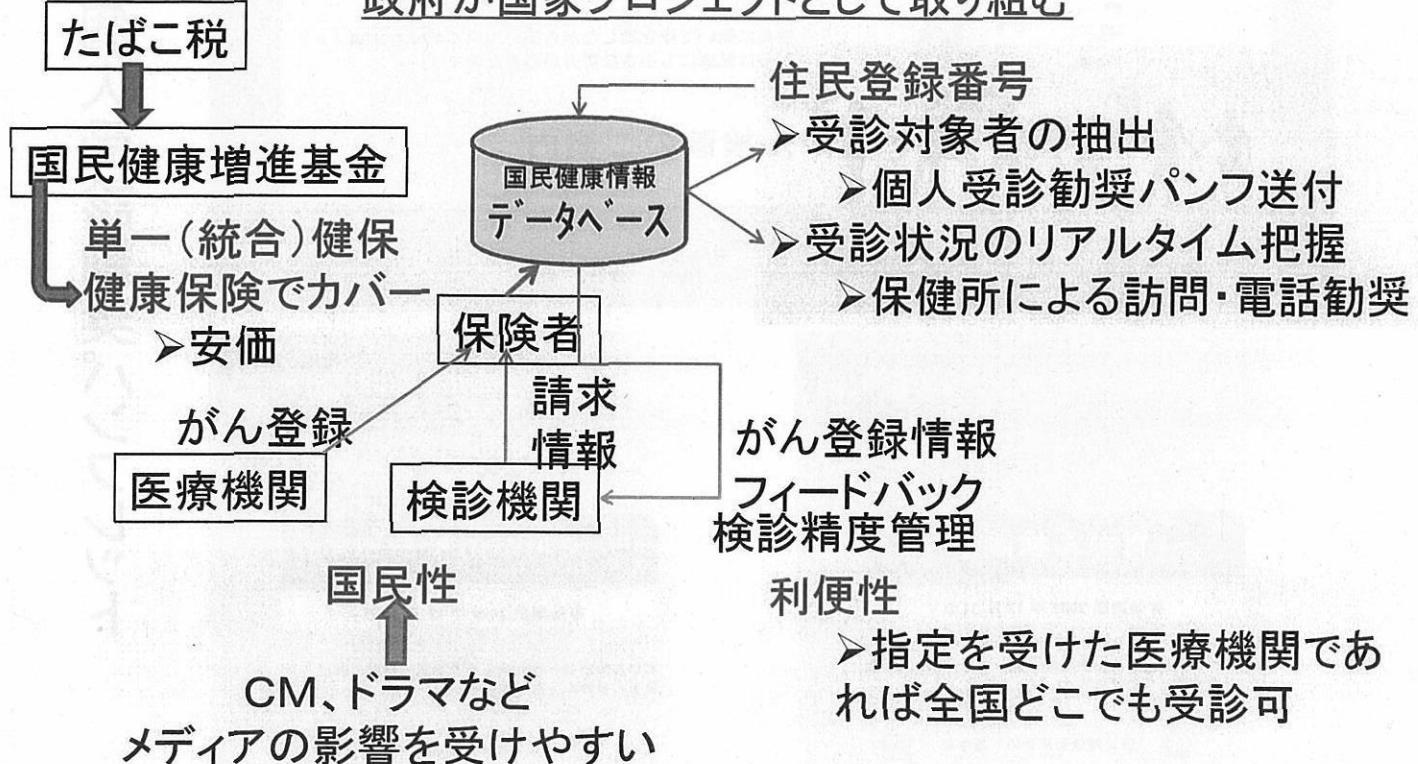


韓国で、がん検診受診率が急増している背景

- ✓ 単一(統合)健保、住民登録番号を利用したIT戦略
- ✓ 健康保険でカバーされ、フリーアクセス
- ✓ 個人受診勧奨(パンフ)と訪問・電話勧奨(保健所)
- ✓ がん登録データの存在
- ✓ CM、ドラマなどのメディア
- ✓ 国民性

韓国で、がん検診受診率が急増している背景

政府が国家プロジェクトとして取り組む



検診の費用体系

健康保険料 上位 50%*	健康保険財政 本人負担額	90% 10%	健康保険 財政 100%	本人負担額 100%
健康保険料 下位 50%*	健康保険財政 国民健康増進基金 地方費	90% 5% 5%		
医療給付 ¹⁾	国民健康増進基金 50%、地方費 50%			
検診項目	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん
種類	公共検診			
	民間検診			

■ 国民健康保険公団 特定がん検診

■ 国の早期がん検診事業

* 上・下位50%区分の基準: 地域加入者 月 保険料 72,000won、
職場加入者 月 保険料 60,000won

1) 医療給付とは、低所得者層であって国の保険システムに参加する必要のない者のための制度。
毎月の支払いは求められていない。

個人受診勧奨パンフレット

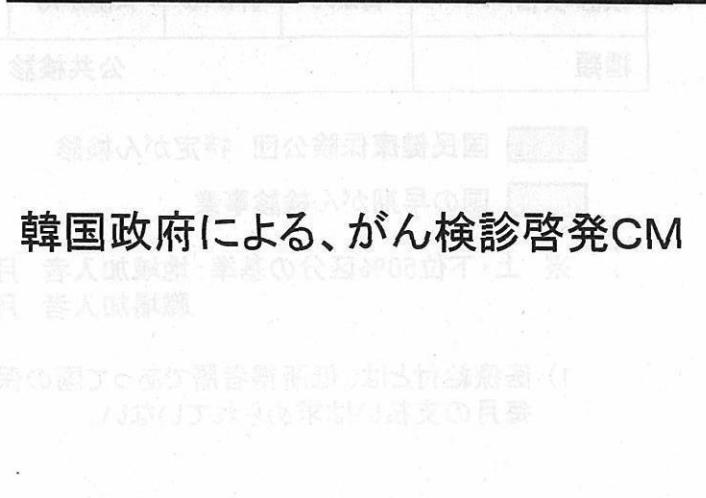
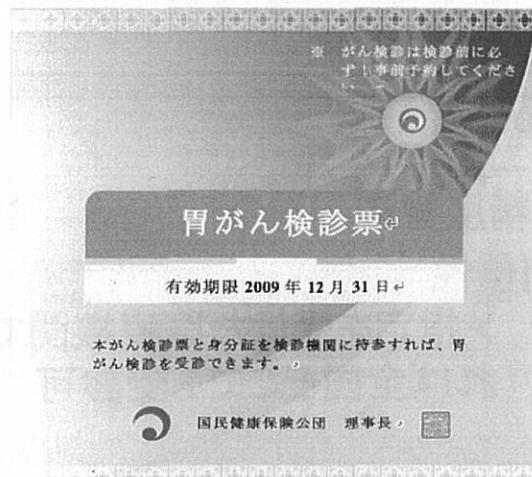
2009健康をとおる希望の年
www.nhic.or.kr

健康は私たちを
待ってくれません。
一生懸命に働いて汗を流しながら築いていく幸せな未来！
これからは健康にも小さな努力が必要な時です。

2009
がん検診のご案内

保健福祉家族部
MINISTRY FOR SOCIAL WELFARE AND FAMILY AFFAIRS

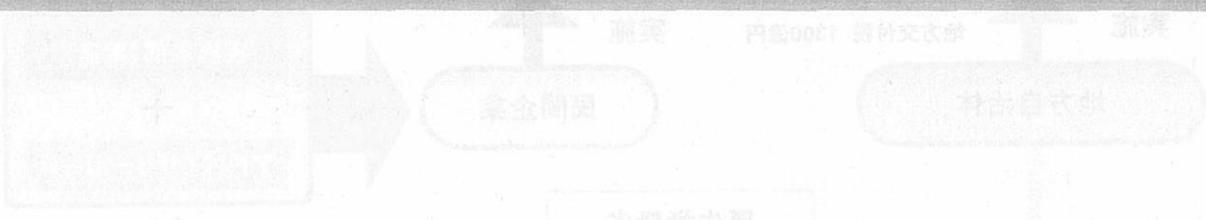
国民健康保険公団
National Health Insurance Corporation



がん検診企業アクションは、企業が従業員の健康を守るために実施する「がん検診」を促進する取り組みです。この取り組みは、企業が従業員の健康を重視する姿勢を示すとともに、社会全体のがん検診率向上に貢献するものです。



がん検診企業アクション



がん大国日本

がん検診企業アクション

国民の

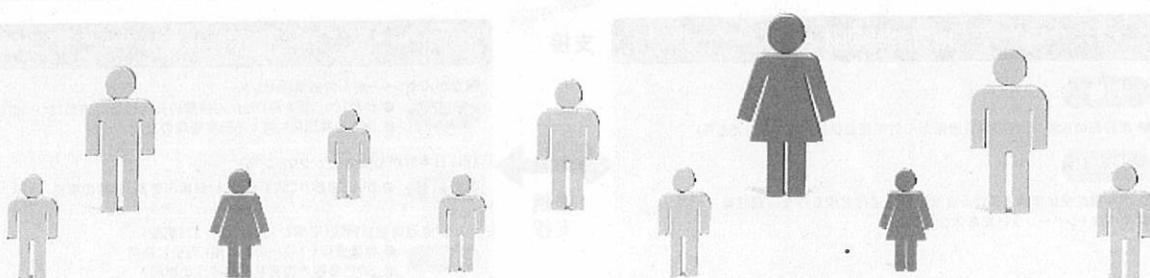
2人に1人が“がん”になり、

3人に1人が“がん”で亡くなっています。

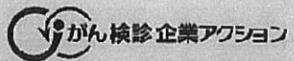
がん検診企業アクションは、

企業の大切な「人材」をがんによって失うリスクを軽減するために

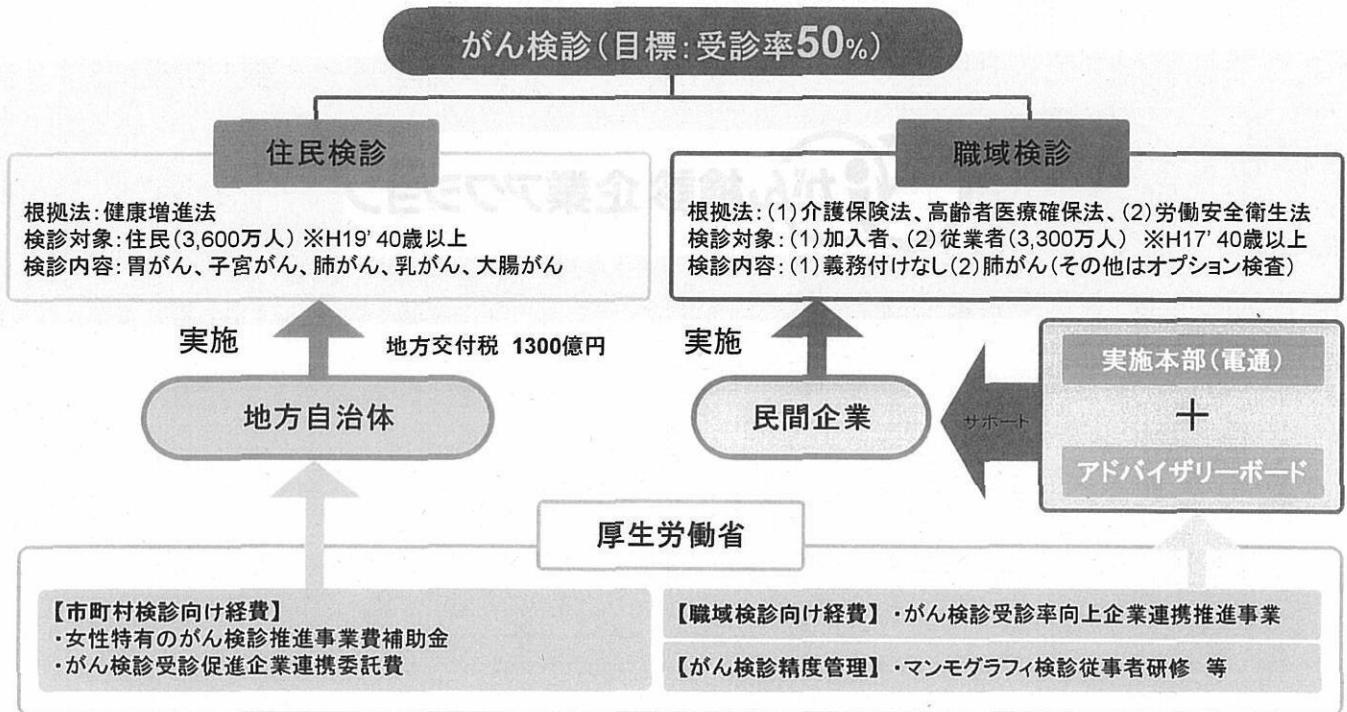
従業員と家族の「がん検診受診」を推進していく国家プロジェクトです。



がん検診企業アクションの役割

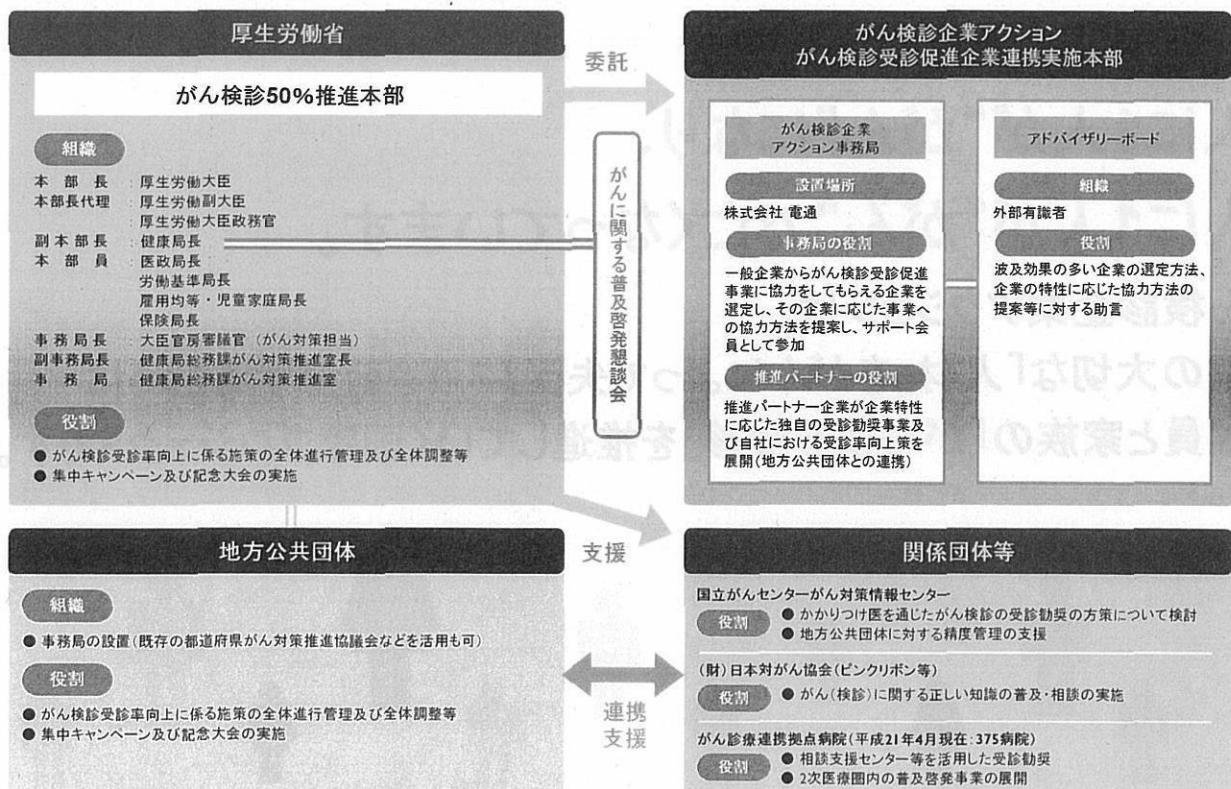
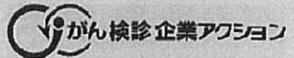


職域におけるがん検診受診率向上を企業連携で推進していくことで、“がん”と前向きに取り組む社会気運を醸成。
企業が率先して「がん検診受診」の大切さを呼びかけることにより、受診率50%以上をめざします。



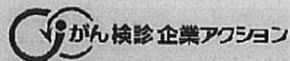
10

がん検診50%推進に向けた組織体制



11

推進パートナー登録企業・団体

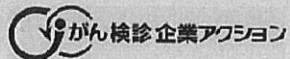


平成22年3月24日現在 50音順／順不同

- 株式会社ACCESS
- 株式会社朝日新聞社
- 株式会社アコーディア・ゴルフ
- アストラゼネカ株式会社
- アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
- 株式会社イーウェル
- 株式会社イトーヨー堂
- 栄研化学株式会社
- エイボン・プロダクツ株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
- 大塚製薬株式会社
- オリックスグループ健康保険組合
- オリンパスメディカルシステムズ株式会社
- 株式会社カイゲン
- カルビー株式会社
- 株式会社京都銀行
- 公明党
- 株式会社サニーサイドアップ
- 株式会社サンケイリビング新聞社
- 株式会社三笑堂
- JALリゾート シーホークホテル福岡
- ジョンソン・エンド・ジョンソングループ健康保険組合
- 株式会社スポーツニッポン新聞社
- セコム損害保険株式会社
- 株式会社千趣会
- 総合警備保障株式会社
- 第一生命保険相互会社
- 株式会社大和証券グループ本社
- 大鵬薬品工業株式会社
- 中外製薬株式会社
- テルモ株式会社
- 株式会社テレビ朝日
- 株式会社電通
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社

12

推進パートナー企業・団体



- 東京海上日動火災保険株式会社
- 株式会社東京スポーツ新聞社
- 東京都報道事業健康保険組合
- 東京放送ホールディングス株式会社
- トステム健康保険組合
- 株式会社栃木サッカークラブ
- 日本新薬健康保険組合
- 日本テレビ放送網株式会社
- 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
- 社団法人日本放射線技師会
- ノバルティスファーマ株式会社
- 株式会社ハイメディック
- 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
- ファイザー株式会社
- フコクしんらい生命保険株式会社
- 株式会社フジテレビジョン
- 富士フイルム株式会社
- 富士フイルムメディカル株式会社
- ブリストル・マイヤーズ株式会社
- 株式会社毎日新聞社
- 株式会社メディネット
- 株式会社読売新聞東京本社
- リコーリース株式会社
- リゾートトラスト株式会社
- 株式会社リビングくらしHOW研究所
- 株式会社リビングプロシード
- 株式会社ローソン
- 株式会社ワコールホールディングス

13

推進パートナー企業・団体登録数：62団体 総従業員数：約36万人

マスコミ関係者を招いたメディアセミナー

日 時： 2009年12月9日(水)

場 所： 東京会館

参加人数： 36社 52名

全国地方新聞社東京支社長との意見交換会

地方新聞社東京支社長の方々に本事業の説明・意見交換を実施

日 時： 2010年1月19日(火)

場 所： 共同通信社

参加人数： 42名

推進パートナー取り組み事例の紹介

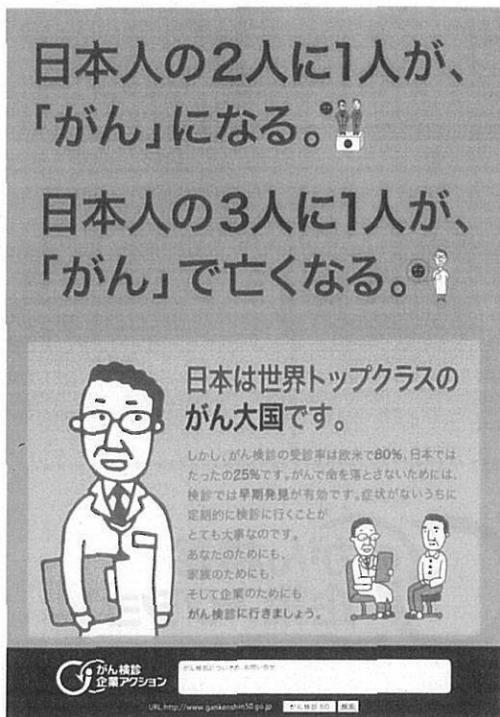
【オフィシャルサイト】 <http://gankenshin50.go.jp>

株式会社朝日新聞社様

がん検診企業アクションオフィシャルサイト内『パートナー企業・団体の取り組み』にて
社内の取り組みの様子を紹介



【ポスター】B3サイズ



【チラシ】A4サイズ



推進パートナーへ提供する啓発ツール

【がん検診のススメ】

企業規模に応じて一定部数無料配布(文庫サイズ／56 page)



発行:がん検診企業アクション事務局

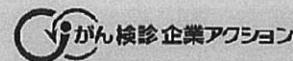
監修:中川恵一

東京大学医学部附属病院放射線科准教授／

厚生労働省「がんに関する普及啓発懇談会」座長

制作:株式会社朝日出版社

推進パートナーの自主的な啓発活動(新聞)



アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)様
2009年11月11日(水)毎日新聞

日本人のがん検診受診率は約
80% の欧米に比べて、その受診率の低さが日本をがん大国にしています。

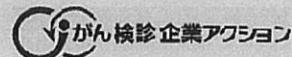
あなたも、今すぐ、がん検診を。

Aflac
アフラック



18

推進パートナー企業の自主的な啓発活動(新聞)



がん治療

再発、転移を防ぐために。
進行がんに負けないために。

■ がん治療の新時代選択肢—「免疫細胞治療」

人間の身体には、がん細胞などの身体にとって危険な細胞を抑制する機能が備わっています。その中心役を果すのが「免疫細胞」と呼ばれる免疫細胞です。この免疫細胞を、体外で細胞を選別・増殖・活性化し、再び体内に戻すことにより、自らがん細胞を殺す「免疫細胞療法」が「免疫細胞治療」です。

免疫細胞の医療とともに、既に見たい患者さんたちも、医療的な開拓などを実現することができます。他の治療法と併用することで治療効果も高めることから、再発・転移・難治性・進行がんの治療など、あらゆるサービスにおける標準的な治療(標準治療)の基盤的技術として注目されています。

患者さんごとに異なるがん細胞一オーダーバイオド医学の実践

がん細胞は患者さんごとに異なる形をしています。それを細胞レベルから細胞がかかる、やや異なる細胞、臓器を育てています。「がん細胞を育てるのに、どの細胞培養をどのくらいにしてあげればいいか?」と患者さんはびっくりません。

MEDINETは、下記通り、アリス細胞・細胞培養(DCI)など、各種免疫細胞を利用した個別細胞治療、がん細胞の特性を利用しての細胞免疫などの研究、開発、実験を行っています。

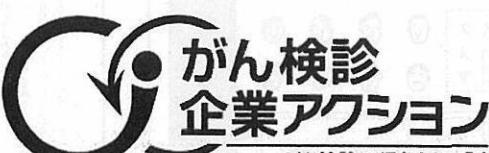
また、さらなる治療向上を目指して、新たな細胞治療技術、造血干細胞移植の研究も行っています。国内外の大手病院との提携研究と共に、医療の最前線で最新医療を実現する意気込みで取り組んでいます。

再発、転移を防ぐために、進行がんに負けないために。
私たちも、がん闘うすべての患者さん、そしてご家族を応援します。

Energy Biomedical Technology
MEDI-NET

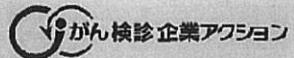
株式会社メディネット 様

2010年1月10日(日)朝日新聞



19

推進パートナー企業の自主的な啓発活動(小冊子)



第一生命保険相互会社様

受けなきやソーン、がん検診
読みのススメ
回し読みのススメ
この冊子

がん検診のススメ

2人に1人ががんになる
第一生命のパートナー

2011年度までに、国民のがん検診受診率を50%に引き上げるために(現在約25%)、国家プロジェクトとして「がん検診企業アクション」(厚生労働省の委託事業)が実施されました。地域住民の検診率アップと並んで、企業にもがん検診率の向上に取り組んでいただきたいと考えたからです。「がんを知り、がんと向き合い、がんに負けない社会」をめざして、この冊子が、すべての国民の皆さまの手に届くことを願っています。

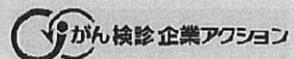
この冊子、ぜひご家族や友人にもおすすめしてください!
第一生命

(登)C21H1247(H21.12.4)② 生涯 日本物産商品番号:73017 09年12月作成

小冊子に
自社のロゴを入れて配布

20

推進パートナー企業の自主的な啓発活動(チラシ)



生涯設計ジャーナル

あなたと家族を『がん』から守る

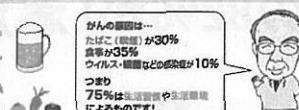
~「がん」の予防・発見から治療まで~

(財)日本対がん協会会長/独立がんセンター名誉院長 垣添忠生

Point 1 がん予防のために

がんの予防のために

- ①たばこを吸わない
- ②アルコールは我慢め
- ③運動をして肥満を防ぐ
- ④塩分を控えて、野菜・果物を取る



Point 2 早期発見は重要、だから検査を受けよう!

がんは体内で気づかぬうちに発生していく病気で、早いうちには全く無症状です。

この時期に検診でがんを見つけることができれば、簡単に治療でき、社会復帰も早くなります。そのためには、がん検診は最も重要な方法です。

検査の方法 国の指針にもとづくがん検査

胃がん 胃内検査(二重造影法)

子宮がん 子宮頸部細胞検査

大腸がん 使用便潜血検査

肺がん 肺内鏡検査(医療者のみ)の併用

乳がん マンモグラフ(と)触診の併用

*厚生労働省「がん予防の実践的教育普及及びがん検査のためのガイド」の一部について(平成18年4月)

Point 3 がん治療も進歩しています! ~たとえば放射線治療の場合~

放射線治療は、がんの局所治療法の1つです。

この放射線治療についても、がんの部分に放射線を当てる技術と照射の効果を高めるような方法や機器が発達してきており、「陽子線治療」「重粒子線治療」といった、従来の放射線治療の精度をさらに高めた治療法もあります。



生涯設計ジャーナル

第一生命保険相互会社様

生涯設計ジャーナル

Interview!

垣添忠生先生のがん体験談とメッセージ



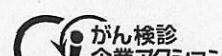
検診のすすめ

~私のがん経験~

立田クリニックには、「がん予防検査センター」というがんの検査をする施設があります。私は自らもこのセンターで2回検査を受けたことがあります。

がんを恐れず、それを乗り越えて生きる

がんは、必ずしも死んでしまう病気ではありません。がんを乗り越えて生きることの大切さを理解してもらいたいと思います。



がん検診企業アクション

がん検診に行きましょう!

21

開催日時：2010年2月23日(火)13:30～17:00

開催場所：株式会社 電通本社 36階 M会議室
(東京都港区東新橋1-8-1)

参加者(予定)：推進パートナー企業 31社



■ プログラム

一部(13:30～14:20)

- 1) 本日の目的の共有
がん検診企業アクション推進パートナーとしての進むべき方向を探る。
- 2) 各社自己紹介
推進パートナー企業同士の交流。自社・他社の状況、課題の共有。

二部(14:35～17:00)

- 1) がん検診企業アクション 現状の報告及び質疑応答
- 2) グループディスカッション
推進パートナー企業が目指すゴールの設定

懇親会(17:30～19:00)

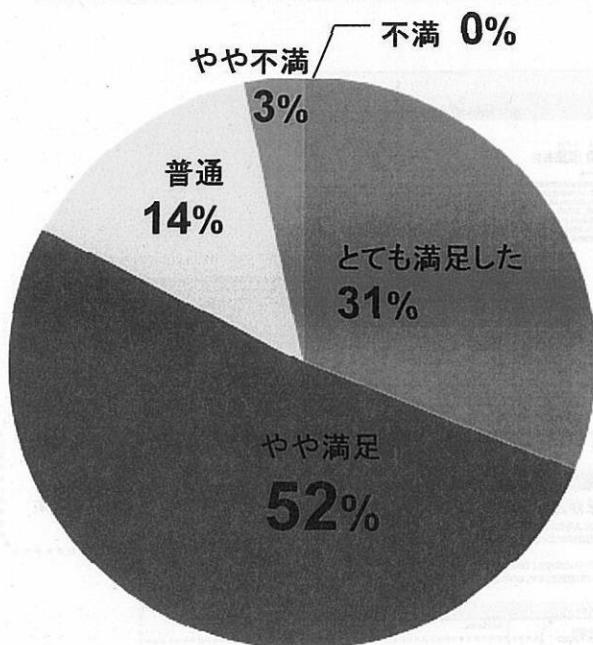


31社 61人が参加

22

推進パートナー会議 アンケート結果

Q. 推進パートナー会議に参加しての感想



参加者の82%が「満足」

- ・ グループディスカッションで、他社の検診の現状を知ることができた。
- ・ 推進パートナー企業と交流・情報交換ができる。
- ・ 混沌としていた本事業の目的・ねらいが見えるようになった。

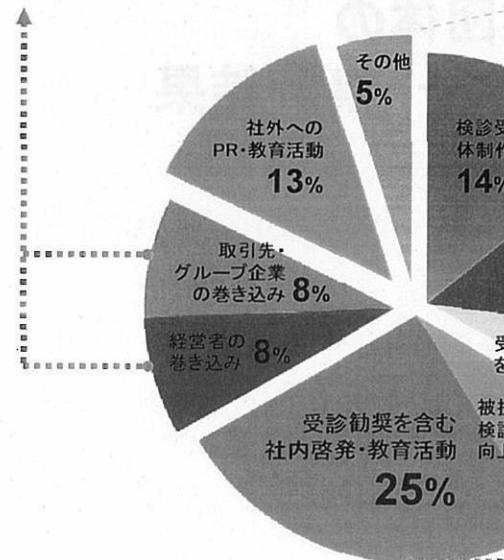
23

Q. 推進パートナー同士のネットワークを使って、どのような取り組みをしたいとお考えですか？(複数回答可)

その場合、どんなことですか？(複数回答可)

経営者・取引先・

グループ企業の巻き込み 16%



特定の課題に特化して、取り組みを進めたい

71%

特定のがんに特化して、取り組みを進めたい

29%

現状把握と体制づくり 33%

受診勧奨を含む、従業員・被扶養者への啓発・啓蒙活動 33%

24

推進パートナーの本事業への参加意識

ポイント

1

自社の現状を知り目標を定める

先ずは自社の検診受診率の算出をしていただき現状を把握する

ポイント

2

従業員・被扶養者がん検診受診に対する意識を啓発するための情報を学ぶ

推進パートナー企業として参加することで、他企業の取り組みを知り、がんの最新情報を学びたい

ポイント

3

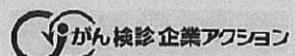
がん検診の大切さを広める

従業員・被扶養者・社外に向けてがん検診の重要性を広める

25

推進パートナー企業団体の 検診受診率・検査項目アンケート集計結果

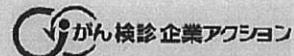
【参考資料】推進パートナー受診率アンケート集計結果



【がん検診 受診率】アンケート回収数=33社の内、受診率算出可能に11社による平均値
※ 下記の受診率は、対象年齢・算出方法など一定ではないため、参考値としてご覧ください。

	従業員	被扶養者
胃がん	62.9%	33.2%
肺がん	87.2%	39.2%
大腸がん	67.8%	32.1%
子宮がん	40.5%	36.4%
乳がん	54.6%	39.9%

【参考資料】推進パートナー検診項目アンケート集計結果



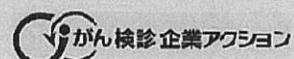
【がん検診 検診項目】回収数=33

下記の受診更新項目のデータは、推進パートナー企業様からご回答いただいたデータをまとめたものです(2月19日現在 33社)

	検診内容	企業数
胃がん	問診	5
	胃部エックス線検査	23
	胃内視鏡検査（胃カメラ）	12
	ペプシノゲン検査	3
	ヘルコバクターピロリ菌抗体検査	3
	その他	1
肺がん	問診	4
	胸部エックス線検査	22
	喀痰細胞診	6
	胸部CT検査	4
	その他	2
大腸がん	問診	3
	便潜血検査	19
	一日法	5
	二日法	13
	全大腸内視鏡検査	1
	その他	1

	検診内容	企業数
子宮がん	問診	8
	視診	8
	子宮頸部細胞診	19
	自己採取	4
	医師採取	16
	内診	6
乳がん	コルポスコープ検査	0
	その他	5
	問診	7
	視触診	11
	乳房エックス線検査(マンモグラフィー)	18
その他	超音波検査(エコー)	20
	その他	5

がん検診の検査項目と受診間隔(厚生労働省指針)



【概要】

- がん検診については、健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として市町村が実施。
- 厚生労働省においては、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知)を定め、市町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進。

【内容】

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診及び胃部エックス線検査	40歳以上	年1回
子宮がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	2年に1回
肺がん検診	問診、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん検診	問診、視診、触診及び乳房エックス線検査(マンモグラフィ)	40歳以上	2年に1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

※1 子宮がん検診：有症状者は、まず医療機関の受診を勧奨。ただし、本人が同意する場合には、子宮頸部の細胞診に引き続き子宮体部の細胞診を実施。

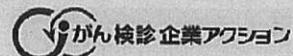
※2 乳がん検診：平成15年度まで、対象者は30歳以上、受診間隔は年1回。

※3 大腸がん検診：平成15年度まで、対象者は50歳以上、受診間隔は年1回。

がん検診企業アクション独自調査

30

がん検診企業アクション独自調査概要



新年度を迎えて会社員のがん検診に対する意識調査を実施

実は高かった職場でのがん検診ニーズ「受診したい」が97%
「実施している」はわずか22%

意識と実態のギャップが浮き彫りに原因は情報発信不足!?

がん検診企業アクション事務局は2010年3月4日(木)～3月5日(金)、新年度を迎えるにあたり、20～40代の会社員(公務員、団体職員も含む)男女400名を対象に、「がん検診に関する意識調査」を実施しました。

【調査結果の概要】

- 1 会社員のがん検診に対する意識と実際の受診率とのギャップが明らかに
- 2 職場におけるがん検診ニーズは高いが実施率は低調
- 3 がん検診に関する情報が正しく伝わっていない
- 4 社会人ががん健診を受けたきっかけは「職場の健康診断にあったから」

31